

一般社団法人日本有機資源協会 平成30年度事業報告書

平成30（2018）年度は、豪雨災害、台風災害、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震等々、自然災害の多い1年でした。中でも北海道胆振東部地震では、大規模停電（ブラックアウト）が発生し、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT 制度）により全量売電を行うバイオガス施設等が稼働停止し、分散型電源としての機能を果たすことができなかつた事象が確認されました。

災害の多い我が国において、災害時を想定したバイオマスの地産地消による地域分散型のバイオマスエネルギー活用の仕組みを構築していくことが重要であることから、7府省が推進する「バイオマス産業都市」の更なる実現化が期待されており、現在の選定地域の数は65地域83市町村となり、バイオマスの事業化に向けた動きが加速化し、各地で検討や実現化が進められてきています。

また、海洋プラスチック汚染問題が世界的な課題として大きく取り上げられ、従来の石油由来のプラスチックの代替として、バイオマスプラスチックが注目されており、環境省においてプラスチック資源循環戦略を取りまとめられ、2030年までにバイオマスプラスチックを最大限（約200万トン）導入するよう目指すこととなっています。

このような情勢の下、平成30年度の重点事業として、①バイオマス活用推進事業においては、バイオマスの事業化に向けた調査や計画策定への支援等を実施、②人材育成事業においては、バイオマスの事業化を成功させるための各種研修を実施、③バイオマスマーク事業においては、バイオマスマーク商品の普及拡大に向けた取組を実施しました。

また、④技術調査事業においては、広く関係者による知見の習得や情報・意見の交換を行うテクノフォーラムを開催、⑤普及啓発事業においては、ホームページの充実を図るとともに、バイオマス活用に関する効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うバイオマスサロンの開催やバイオマスエキスポや国際バイオマス展等の展示会に出展し、普及啓発の充実を図りました。

さらに、補助事業・受託事業については、バイオマス関連の幅広い分野の事業について受注活動を展開した結果、国の補助事業として、バイオマス産業都市推進協議会の体制整備等及び、大規模停電等緊急時対応型バイオマス発電システム検討委託事業を実施しました。

以上の事業を展開するにあたっては、当協会会員はもとより、国関係機関、地方公共団体、学識経験者、バイオマス活用アドバイザー、関係者等と連携を図るとともに、食品関係、流通関係、廃棄物関係、林業関係等の幅広い分野の方々との連携を図りました。

1. 会員の状況

平成30年度における期首及び期末の会員数は、次のとおりです。

| 会員区分 | 平成30年4月1日現在 | 平成31年3月31日現在 | 増減 |
|------|-------------|--------------|----|
| 名誉会員 | 2 | 2 | 0 |
| 正会員 | 84 | 93 | 9 |
| 個人 | 22 | 23 | 1 |
| 法人 | 45 | 51 | 6 |
| 団体 | 17 | 19 | 2 |
| 賛助会員 | 128 | 134 | 6 |
| 個人 | 117 | 120 | 3 |
| 法人 | 3 | 3 | 0 |
| 団体 | 8 | 11 | 3 |
| 合計 | 214 | 229 | 15 |

2. 会務の運営

総会及び役員会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 総会 1回開催

平成30年

- 6月27日(水) 第7回定時総会
第88回バイオマスサロン・懇親会を併せて実施
[総会出席者]
正会員数87会員のうち73会員
[議案]
第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算について
第2号議案 役員の選任について
[報告事項]
1 平成30年度事業計画及び収支予算について

(2) 理事会 3回開催

平成30年

- 5月30日(水) 第18回理事会
[議事]
1 平成29年度事業報告及び収支決算について
2 役員の選任について
3 諸規程について
4 平成30年度事業計画及び収支予算について
5 第7回定時総会について
6 第19回理事会の開催について
7 その他

- 6月27日(水) 第19回理事会
[議事]
1 会長、副会長及び専務理事の選任について
2 入会審査担当理事について
3 その他

平成31年

- 3月27日(水) 第20回理事会
[議事]
1 平成30年度(2018年度)事業執行状況について
2 2019年度事業計画及び収支予算について
3 諸規定等について
4 今後のスケジュール等について
5 その他

(3) 監事会(平成29年度事業監査) 1回開催

平成30年

- 5月21日(月) 第7回監事会
[議事]
1 平成29年度事業報告及び収支決算について

(4) 総務・企画委員会 2回開催

平成30年

5月24日(木) 平成30年度第1回総務・企画委員会(平成30年度第1回運営戦略会議と合同開催)

平成31年

3月11日(月) 平成30年度第2回総務・企画委員会(平成30年度第5回運営戦略会議と合同開催)

(5) 運営戦略会議 5回開催

平成30年

5月24日(木) 平成30年度第1回運営戦略会議(平成30年度第1回総務・企画委員会と合同開催)

7月23日(月) 平成30年度第2回運営戦略会議

10月19日(金) 平成30年度第3回運営戦略会議

12月11日(火) 平成30年度第4回運営戦略会議

平成31年

3月11日(月) 平成30年度第5回運営戦略会議(平成30年度第2回総務・企画委員会と合同開催)

(6) 企画検討WG 1回開催

平成30年

8月24日(金) 企画検討WG

3. 事業活動

(1) バイオマス活用推進事業

地方公共団体及びバイオマス活用に関する事業や研究等に関連する個人、企業、団体等からの要請、要望、相談等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行いました。

さらに、経済産業省資源エネルギー庁開催の「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会」等にバイオマスの代表団体の一つとしてオブザーバー出席し、バイオマス関係企業、団体等の意見・要望を伝えるとともに最新の情報収集等に努めました。

1) バイオマス活用推進活動の促進

当協会会員や全国225名のバイオマス活用アドバイザー等との連携により、市町村のバイオマス産業都市構想の策定、木質バイオマスエネルギー導入計画の策定、バイオマス関連調査等に対する支援を行いました。

[契約業務]

① 鳥取県北栄町

バイオマス産業都市構想策定支援業務

② 民間企業

バイオマス発電事業技術評価検討業務

③ 栃木県大田原市

バイオマス活用推進支援業務

④ 長野県中野市

- 平成30年度中野市分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定業務
- ⑤ 岡山県地域課題解決支援プロジェクト協議会
岡山県地域課題解決支援プロジェクト（生ごみの堆肥化等による資源循環型地域の形成）
コーディネート業務
- ⑥ 民間企業
平成30年度バイオマスプラスチックの国内の普及状況調査業務
- ⑦ 大分県竹田市
H30竹田市木質バイオマスエネルギー熱利用設備導入計画策定事業に係る調査及び報告書
支援業務
- ⑧ 民間企業
平成30年度新エネルギー等の導入促進のための広報等事業（再エネコンシェルジュ事業）
のうち事業化案件形成支援業務
- ⑨ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業／地域自立システム化実証事業／
栃木県におけるエリアンサスを含めたバイオマス資源を利活用した公共施設への地域自立
システム化の事業性評価（FS）
- ⑩ 長野県中野市
バイオマス産業都市構想策定業務
- ⑪ 栃木県さくら市
バイオマス産業都市構想策定支援業務

2) バイオマス活用相談室の運営

バイオマス活用相談室を設置・運営し、資料提供、面談指導、実地指導、講演、委員の派遣等を実施しました。

(2) 人材育成事業

バイオマスの活用を的確かつ効率的に推進するうえで、専門的かつ幅広い知識を有し、地域で活動できる人材の養成が不可欠であることから、各種研修等を以下のとおり行いました。

1) バイオマス活用総合講座の実施

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手の養成を目的として実施しました。本講座の修了者には、バイオマスアドバイザー（初級）として認定し、バイオマス活用アドバイザー養成研修及びコンポスト生産管理者養成研修の受講資格を付与しています。

平成30年

8月 7日（火） 第17回バイオマス活用総合講座（23名）
～9日（木）

2) バイオマス活用アドバイザー養成研修の実施

バイオマスの賦存量及び活用量の把握手法、製品やエネルギー等多様な変換・利用方法、農林水産業をはじめとする地域の様々な産業との連携等、多方面にわたる豊富な知見を有し、地域の実状を踏まえて関係者間の調整や事業化に向けた支援等により「現場を動かしていく」人材である「バイオマス活用アドバイザー」の養成を目的に研修を実施しました。

平成30年

8月 27日（月） 平成30年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 集合研修（10名）
～30日（木）
10月 23日（火） 平成30年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 現地研修
～26日（金）（北海道当別町）（5名）

11月12日（月） 平成30年度バイオマス活用アドバイザー養成研修 現地研修
～15日（木） （長野県長野市）（5名）

3) メタン発酵技術アドバイザー養成研修の実施

バイオガス化・液肥製造事業における技術管理またはメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的として研修を実施しました。

平成30年

10月16日（火） 第8回メタン発酵技術アドバイザー養成研修（27名）
～18日（木）

4) メタン発酵技術アドバイザーフォローアップ研修の実施

メタン発酵技術アドバイザー修了者をフォローアップするため、養成研修後3年毎にバイオガス化・液肥製造事業における技術管理またはメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的として研修を実施しました。

平成31年

2月6日（水） 第3回メタン発酵技術アドバイザーフォローアップ研修（9名）

5) コンポスト生産管理者フォローアップ研修の実施

コンポスト生産管理者養成研修修了者をフォローアップするため、養成研修終了後3年毎にコンポスト化事業における技術管理あるいは生産施設の総括管理業務担当者として必要な最新の政策、法令、技術、事業運営等に関する研修を実施しました。

平成31年

2月14日（木） 平成30年度コンポスト生産管理者フォローアップ研修（5名）

6) コンポスト生産者及び生産管理者養成研修の実施

コンポスト化事業における技術管理あるいは生産施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を目的とする研修を実施した。

平成31年

2月26日（火） 平成30年度コンポスト生産者及び生産管理者養成研修（9名）
～28日（木）

(3) バイオマスマーク事業

優良なバイオマス活用製品等の生産・流通等を促進し、バイオマス活用が円滑かつ適正に推進されるための市場の形成とその発展を期するために、バイオマス製品を評価し、優良なものを推奨することを目的としています。

バイオマス由来の商品に「バイオマスマーク」を付すことにより、供給者のバイオマスに対する意識高揚と消費者のバイオマス商品への認識と利用の促進を図り、これらの商品を普及することによりバイオマスの利用促進と持続的に発展可能な社会構築に貢献するためのものです。

バイオマスマーク対象分野の拡大、バイオマスマーク商品の良さを積極的にPRした結果、申請件数は105件にのぼり、平成31年3月末時点のバイオマスマークの認定数は304点になりました。

1) バイオマスマークの運営・審査

2か月に1回バイオマスマーク審査を実施するとともに、運営委員会及び審査委員会を開催しました。

平成30年

5月31日（木） 平成30年度第1回バイオマスマーク審査

- 7月31日(火) 平成30年度第2回バイオマスマーク審査
- 10月 3日(水) 平成30年度第3回バイオマスマーク審査委員会
- 11月 1日(木) 平成30年度第1回バイオマスマーク運営委員会
- 12月 3日(月) 平成30年度第4回バイオマスマーク審査
- 平成31年
- 1月31日(木) 平成30年度第5回バイオマスマーク審査
- 2月21日(水) 平成30年度第2回バイオマスマーク運営委員会
- 3月29日(金) 平成30年度第6回バイオマスマーク審査

2) バイオマス関連展示会等への出展及びバイオマスマーク商品ホームページの運営

バイオマスマーク商品の良さをPRするため、以下の展示会等に出展するとともに、バイオマスマーク商品のホームページを運営しました。

平成30年

- 10月20日(土) ちがさき環境フェア2018
- 12月 6日(木) エコプロ2018
- ~8日(土)

平成31年

- 2月 1日(金) 中央区立環境情報センター「身近な環境活動を知ろう！」
- ~27日(水)

3) バイオマスマーク取得企業との意見交換会

バイオマスマーク商品の更なる普及、ならびにバイオマスマーク取得企業との連携を強化するため、意見交換会を実施しました。

平成30年

- 5月11日(金) 第1回意見交換会(40名)
- 11月 1日(木) 第2回意見交換会(46名)

(4) 技術調査事業

バイオマスに関する新規技術や新規事業等の情報収集を行い、テクノフォーラム等で積極的に情報発信を行いました。

1) テクノフォーラムの開催

バイオマス活用推進のための実用的技術、課題、事業性等について検討し、事業化の可能性を追求することを目的として、広く関係者による知見の習得や情報・意見の交換を行いました。

平成30年

- 10月24日(水) 第42回テクノフォーラム(79名)
 - ①MRM亜臨界水技術による包括・効率的なバイオマス資源循環
芝浦工業大学 名誉教授、中央大学 理工学研究科 客員研究員、
中央大学 研究開発機構 教授 松下 潤 氏
- 11月 6日(火) 第43回テクノフォーラム(後援)
 - ①河北省保定市中日循環経済産業モデル園區への外資誘致説明会

平成31年

- 2月21日(木) 第44回テクノフォーラム
(日本バイオマス製品推進協議会と共催、39名)
 - ①バイオマスプラスチックに関する施策動向
環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室
室長補佐 佐川 龍郎 氏

②欧州におけるバイオマスプラスチック動向

三井化学株式会社 ESG推進室 ESGグループ SDGs-CSV
担当課長、日本バイオマス製品推進協議会 顧問 八木 正 氏

(5) 普及啓発事業

バイオマスの有効利用に係る国及び地方公共団体の施策と連携し、ホームページやメールニュースで情報配信を行うこと等により、国民の各層各界にバイオマス活用推進のための普及啓発活動を行いました。

1) ホームページの運営

本協会活動の広報（協会案内、協会活動、入会案内、行事・イベント、公募情報等）、バイオマス活用アドバイザー等への相談受付、出版物案内、バイオマスマークの紹介、バイオマス関連情報の提供等、効果的なホームページの運営を行いました。

2) バイオマスエキスポ、国際バイオマス展等の展示会等への協力

バイオマスエキスポや国際バイオマス展等の展示会等に出展するとともに、積極的に協力し、バイオマスの事業化の推進を図りました。

平成30年

- 4月 6日 (金) 早稲田地域再生塾開設記念シンポジウムに後援
- 5月 9日 (水) 第2回関西農業ワールドに後援
- ～11日 (金)
- 5月22日 (火) 2018NEW環境展に協賛
- ～25日 (金)
- 5月30日 (水) バイオマスエキスポ2018に出展
- ～6月2日 (土)
- 6月17日 (日) グランド再生可能エネルギー2018国際会議に協賛
- ～22日 (金)
- 7月11日 (水) 施設園芸・植物工場展2018に協賛
- ～13日 (金)
- 9月26日 (水) 第3回関西バイオマス発電展に出展
- ～28日 (金)
- 10月10日 (水) 第8回国際農業ワールドに後援
- ～12日 (金)
- 10月17日 (水) びわ湖環境ビジネスメッセ2018に後援
- ～19日 (金)
- 11月20日 (火) アグロ・イノベーション2018に協賛
- ～22日 (木)
- 12月 5日 (水) アルコール・バイオマス研究会 シンポジウムに後援

平成31年

- 1月16日 (水) 第14回バイオマス科学会議に協賛
- ～18日 (金)
- 2月13日 (水) エコフィールド全国シンポジウムに協力
- 2月27日 (水) 第4回国際バイオマス展に出展
- ～3月 1日 (金)
- 3月12日 (火) NEW環境展に協賛
- ～15日 (金)

3) バイオマスサロンの開催

会員をはじめ関係者が一堂に会して、バイオマス活用に関して効果的な情報交換、有用な知見の習得等を行うことを目的に、本年度は4回開催しました。

平成30年

6月27日(水) 第88回バイオマスサロン(169名)

①地球温暖化対策の現状と、環境省の取組みについて ～バイオマス関連事業の紹介～

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

地球温暖化対策事業室長 水谷 好洋 氏

②分散型エネルギーインフラプロジェクトについて

総務省 地域力創造グループ 地域政策課 課長補佐 佐藤 茂 氏

③再生可能エネルギーの導入拡大とバイオマス発電について

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

新エネルギー課 課長補佐 菊島 大二郎 氏 / 課長補佐 新井 啓祐 氏

④バイオマス活用の推進について

農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課

課長補佐 岩崎 幸彦 氏

9月 7日(金) 第89回バイオマスサロン(77名)

①木質バイオマスのエネルギー利用の現状と今後の展開について

林野庁 林政部 木材利用課 課長補佐 鈴木 憲一 氏

②下水道における資源・エネルギー利用の取組について

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

下水道国際・技術調整官 阿部 千雅 氏

③食品ロスの削減・食品リサイクルの推進に関する取組

環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室

室長補佐 寺井 徹 氏

12月13日(木) 第90回バイオマスサロン(106名)

①バイオマス政策に関する今後の展望について

農林水産省 農林水産事務次官 末松 広行 氏

農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課長 片貝 敏雄 氏

平成31年

1月17日(木) 第91回バイオマスサロン(78名)

①地球温暖化対策について ～バイオマス関連事業の紹介等～

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

低炭素技術開発・実証事業班 総括主任 室長補佐 高橋 和也 氏

②下水道における資源・エネルギー利用の取組について

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

課長補佐 村岡 正季 氏

③再生可能エネルギーの導入拡大とバイオマス発電について

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部

新エネルギー課 課長補佐 菊島 大二郎 氏

④バイオマス利活用の推進と今後の展望

農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課長 片貝 敏雄 氏

4) メールニュースの配信(継続)

バイオマスに関するイベントや公募情報等のメール配信、及び定期的なメールニュースの配信を実施しました。

(6) 国際交流事業

海外の関係団体等との連携協調、国際的情報交換、人的交流などの推進を目的とし、本年度は、海外からの視察受入や勉強等での講演対応等を行い、国内外におけるネットワークの拡充を図りました。

平成30年

- 9月17日(月) 中国 青海省発展と改革委員会(日本のバイオマス活用の動向)の対応
- 10月4日(木) ブラジル Braskem社(日本のバイオマスプラスチックに関する動向)の対応
- 10月15日(月) 中国河北省保定市清苑区経済開発区のビジネスマッチングでの講演、インドネシア政府関係者(日本のバイオマス活用[食品リサイクル]の動向)の対応
- 11月6日(火) 在日ドイツ商工会議所(日独の地域におけるバイオマスのエネルギー利用動向)の対応
中国河北省保定市中日循環経済産業モデル園區への外資誘致説明の後援(第43回テクノフォーラムとして後援)
- 11月14日(水) 日欧産業協力センター(日欧のプラスチック問題に関する動向)の対応
- 12月17日(月) 在日イタリア商工会議所(日本のバイオガス活用動向とイタリア企業の参入可能性)の対応

平成31年

- 1月12日(土) 2019 International Workshop on Recycled Use of Food Wasteでの講演
- ～13日(日) (中華人民共和国 江蘇省 蘇州市)

(7) 出版事業

「バイオマス活用ハンドブック～バイオマス事業化成功のために～」を販売するとともに、技術調査事業における技術委員会の各専門委員会作成の調査報告書・マニュアル等を販売しました。

(8) 補助・受託事業

1) 補助事業

①平成30年度地域資源活用展開支援事業のうちバイオマス産業都市推進協議会の体制整備等(農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課)

バイオマス関係7府省が共同で取りまとめた「バイオマス事業化戦略」(平成24年9月6日バイオマス活用推進会議決定)において、地域のバイオマスを活用した産業化等を推進することとされたのに基づき、バイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指すバイオマス産業都市の構築を推進するものであり、以下の内容を実施しました。

i) 推進協議会の運営

バイオマス産業都市推進協議会の総会及び先進事例視察、新規バイオマス産業都市情報交換会の開催、関係7府省への提言書の提出を行いました。

ii) 経理管理指導等

各バイオマス産業都市選定地域からの事業化プロジェクトの実施に向けた資金調達の方法や留意点等に関する相談に対応しました。

iii) 構想づくり支援

バイオマス産業都市の構築に向けて意欲がある地域のバイオマス産業都市構想づくりに関して、専門家の派遣等により支援し、バイオマス産業都市構想策定の推進を図りました。

iv) シンポジウムの開催等

バイオマス産業都市の構築を推進するため、バイオマス産業都市推進シンポジウムを開催し、バイオマス産業都市の普及とともに、バイオマス事業を取り巻く課題や可能性について情報の共有化を行いました。

v) 推進協議会の自立化検討

バイオマス産業都市推進協議会の自立化に向けて、名称の変更、協議会の規約策定、会員区分及び会費の規定、役員体制について検討を行いました。

平成30年

- 6月14日(木) 第1回バイオマス産業都市推進委員会
- 8月28日(火) バイオマス産業都市推進協議会設立総会に向けた準備会
- 10月29日(月) バイオマス産業都市推進協議会 設立総会・先進事例視察
- ～30日(火)
- 11月7日(水) バイオマス産業都市推進協議会に関する情報交換会
- 11月16日(金) 第2回バイオマス産業都市推進委員会

平成31年

- 2月4日(月) バイオマス産業都市推進協議会 第1回総会
- 2月5日(火) バイオマス産業都市推進シンポジウム
- 3月8日(金) 第3回バイオマス産業都市推進委員会
- 3月22日(金) バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書 関係7府省に提出
- ～28日(木)

2) 委託事業

①平成30年度大規模停電等緊急時対応型バイオマス発電システム検討委託事業

(農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課)

災害発生時などにおけるバイオマス発電施設からの電力供給システムの構築に向けた課題の整理、電力供給システムの方向性の確定のため、バイオマス発電施設の設計事務所・プラントメーカー等に対するアンケート調査及びヒアリング調査、ならびに、FIT売電事業者への現地調査を実施しました。

また、FIT売電事業者3者について、災害発生時等においてバイオマス発電施設が分散型のエネルギー供給源として確実に稼働するために必要となる事項の基本設計を行い、既設バイオマス発電施設の改修計画図面の作成及び概算工事費の算出を行いました。

②日本バイオマス製品推進協議会関係

平成19年2月21日に、バイオマス製品の利用拡大を促進することを目的として設立された協議会であり、更なる利用拡大推進のために事務局の運営を行いました。

平成30年

- 5月21日(月) 平成29年度事業監査
- 6月1日(金)
- 6月7日(木) 平成30年度第1回幹事会
- 7月10日(火) 平成30年度総会・講演会・交流会
- 10月10日(水) 平成30年度第2回幹事会
- 11月7日(水) 第8回バイオマス製品普及推進功績賞表彰式・記念講演会・交流会
- 12月6日(木) エコプロ2018 (第8回バイオマス製品普及推進功績賞 表彰結果展示)
- ～8日(土)

平成31年

- 2月21日(木) 平成30年度第3回幹事会
- 2月21日(木) 講演会 (第44回JORAテクノフォーラムと共催)

③全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会関係

平成19年3月19日に、バイオディーゼル燃料の円滑な普及拡大を目的として設立された協議会であり、更なる利用推進のための活動を図るために事務局の運営を行いました。

平成30年

- 5月15日(火) 第30回幹事会
- 5月28日(月) 平成29年度会計監査
- 6月1日(金)
- 6月7日(木) 第13回総会、話題提供
- 10月 第1回用途拡大委員会、第1回企画実行委員会(持ち回り)
- 12月21日(金) 関係省庁との情報交換(幹部)

平成31年

- 1月～2月 実態等調査
- 2月14日(木) 地方における情報交換会(北海道)
- 3月19日(火) 第31回幹事会(第2回企画実行委員会、第2回用途拡大委員会、合同開催)

④リン資源リサイクル推進協議会関係

平成20年12月18日に、未利用リン資源からのリン回収、再利用等を推進することを目的として設立された協議会であり、更なる回収、再利用の推進のための活動を図るために事務局の運営を行いました。なお、リン資源リサイクル推進協議会は平成31年3月12日に解散し、新たに設立された一般社団法人リン循環産業振興機構への引き継ぎ作業も併せて行いました。

平成30年

- 5月24日(木) 平成29年度事業監査
- 5月31日(木) 第29回幹事会
- 7月4日(水) 第11回総会
- 7月24日(火) 第1回新法人設立準備委員会
- 7月31日(火) 第17回シンポジウム
- 10月2日(火) 第23回リン資源の確保と管理に関する産官学戦略会議
- 11月27日(火) 第18回シンポジウム(新法人設立記念シンポジウム)

平成31年

- 2月26日(火) 平成30年度事業監査
- 3月4日(月) 第31回幹事会
- 3月12日(火) 第12回総会

⑤バイオマス資源総合利用推進協議会関係

平成25年4月16日に、バイオマス資源の活用を加速化し、バイオマスを基調とした社会の実現と地球環境保全の推進を図ることを目的として設立された協議会であり、これらの目的実現のために事務局の運営を行いました。

平成30年

- 6月27日(水) 平成29年度事業監査
- 7月13日(金) 第6回定時総会・視察会